

令和3年12月17日（金）13時30分～

交通政策審議会 海事分科会 第143回船員部会

【岡村労働環境技術活用推進官】 それでは、定刻となりましたので、ただいまから交通政策審議会海事分科会第143回船員部会を開催させていただきます。

事務局を務めさせていただきます、海事局船員政策課の岡村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からウェブ会議により開催させていただきます。

まず、初めにウェブ会議の操作方法についてご案内させていただきます。委員の皆様におかれましては、カメラ・マイクの通信はOFF（マークにスラッシュが入った状態）のまま、ご発言される際のみカメラ・マイクをONに、ご発言が終わりましたらカメラ・マイクをOFFにさせていただきますようお願いいたします。

ご発言時以外にカメラ・マイクがONの状態の方がいらっしゃいますと、通信状況が不安定になったり、回線が切れたりしてしまうおそれがございます。ご発言終了時にはカメラ・マイクを必ずOFFにさせていただくようお願いいたします。

また、傍聴者等の方々については、円滑な会議運営のため、映像、音声を拾わないようにカメラ・マイクを常に切った状態（マークにスラッシュが入った状態）で傍聴をお願いします。

その他ご不明な点、映像や音声通話に不具合が生じた場合は事前にお伝えしている事務局の緊急連絡先にてご連絡ください。

本日の船員部会は委員及び臨時委員総員19名中16名のご出席となりますので、交通政策審議会令第8条第1項及び船員部会運営規則第10条の規定による定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

本日の資料につきましては、ウェブ会議となっておりますので、事前にお配りした資料をご覧ください。

それでは、議事に入りたいと思います。野川部会長、司会進行をお願いいたします。

【野川部会長】 それでは、本年最後の船員部会を開催いたします。

議題1の審議事項である「船員派遣事業の許可について」でございますが、本件につき

ましては、個別事業者の許可に関する事項であり、公開することにより、当事者等の利益を害するおそれがありますので、船員部会運営規則第11条ただし書きの規定により審議を非公開とさせていただきます。

(非公開・関係者以外退席)

【野川部会長】 本日意見を求められました諮問につきましては、別紙に掲げる者に対する船員派遣事業の許可について許可することが適当であるという結論とすることとし、海事分科会長にご報告をしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

これで本日の予定された議事は全て終了いたしました。何かございますでしょうか。

【平岡臨時委員】 部会長よろしいでしょうか。

【野川部会長】 平岡委員ですか。平岡委員、お願いいたします。

【平岡臨時委員】 教えていただきたいのですが、JR九州高速船の「クイーンビートル」の国内就航に関する件です。10月29日に行われた海事局長の定例会見の中では、本船の日本籍船への転籍も検討しているというお話をしておりました。その後の状況について、教えていただきたい。

【野川部会長】 では分かる範囲でお願いいたします。

【高乗船員政策課課長補佐】 JR九州高速船より、昨日、日本籍化に向けたプレスリリースが発表されました。具体的には来年3月中に変更を予定していると伺ってございます。それ以外の情報については、当船員部会の事務局におきましては把握してございません。

【野川部会長】 ということでございます。よろしいでしょうか、平岡委員。

【平岡臨時委員】 分かりました。今、それしか把握していないということですが、船員政策課としては、外航課への問合せ等はしていないということでしょうか。

【野川部会長】 お願いします。

【高乗船員政策課課長補佐】 プレスリリース以上の内容につきましては、特段問合せ等はしてございません。何か詳しい情報が必要でしたら、JR九州高速船のほうにお問合せいただければと存じます。

【平岡臨時委員】 我々がJR九州高速船に問い合わせるといのは、いかなものでしょうか。私が言っているのは、課が違うから、この場では対応できないというお話を当部会でずっと受けてきたわけです。プレスリリースが出たのであれば、外航課が窓口にな

っているわけですから、外航課との情報交換等を行うべきだと思うのですが、全くしていないということなんでしょうか。

【野川部会長】 船員政策課長、お願いします。

【谷口船員政策課長】 船員政策課長です。ご関心があるということであるんですが、個別企業の経営に関することについて私ども国家公務員としての守秘義務も負っておりますので、ちょっと公開の場で、事業者が同意していないような情報をご説明することは一般的にできないということをご理解いただければと思います。

【平岡臨時委員】 分かりました。それでは、船員政策課としては、外航課のほうにきちっと問い合わせをしていると。その中で守秘義務があるから、それ以上を話せないということで、来年の3月に本船は日本籍船になるということのみを昨日の記者会見で発表したと、そういう理解でいいんですか。

【野川部会長】 船員政策課長。

【谷口船員政策課長】 プレスリリースがあるという話については伺っておりまして、プレスリリースの予定については、海員組合にも事務的にお知らせいただいたとおりでございます。

【野川部会長】 ということです。平岡委員、いろいろとご懸念の点あるかと思いますが、プレスリリースにおいて、クイーンビートルの日本籍化が発表されて、それが3月に予定されているところまでが、ほぼ公開の場で発表されておりますので、そういう状態であるということをご認識するというので、この場ではそれ以上突っ込んだいろいろな情報等については、課が違うだけではなくて今、船員政策課長もおっしゃったように、個別事業主の個別の問題に関わることであり、申し上げることが難しいということでございますので、例えばまさにJR九州高速船のほうに問い合わせるなりしてご懸念の点を解明していただければというふうに思います。この場においてできることというのは以前からもありましたように限られておりますので、今公開されていることについて、ここでお知らせをしたということにとどめたいと思いますので、ご了解いただけますでしょうか。

【平岡臨時委員】 部会長のお話について理解はしております。ただ、この場で再三にわたり、問題提起をしながら同じようなお話をずっと受けてきたわけです。プレスリリースの話が出ているのであれば、議題のその他のところで本件については、このようなプレスリリースが出ておりますと、事前に話があってもよかったのではないかと私は思ってお

ります。

【野川部会長】 ご要望の点は承りました。ここでどうするかということを手すぐにお答えできませんけれども、ご要望の件を承りました。ありがとうございます。

ほかにかがでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、なければ事務局にお返しいたします。よろしく願いいたします。

【岡村労働環境技術活用推進官】 次回の船員部会の開催日程につきましては、部会長にお諮りした上で改めてご連絡させていただきます。事務局からは以上でございます。

【野川部会長】 それでは、以上をもちまして、交通政策審議会海事分科会第143回船員部会、今年最後の船員部会を閉会したいと存じます。

本日はお忙しいところ、委員及び臨時委員の皆様には会議にご出席を賜り有難うございました。どうぞよいクリスマスとよいお正月をお迎えください。

— 了 —